

文理科学科

福高はあなたの「みらい」を応援します！

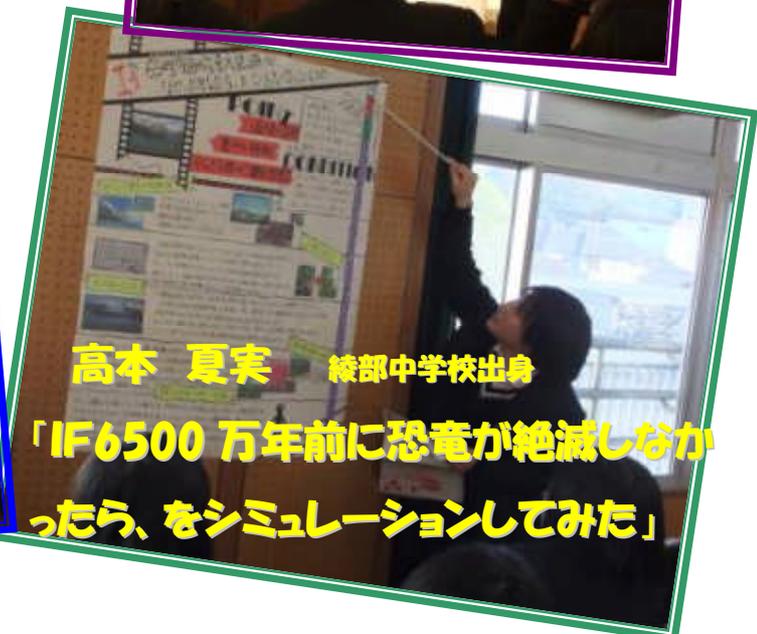
予選会の様子 (ポスター・パワーポイントに分かれて実施)

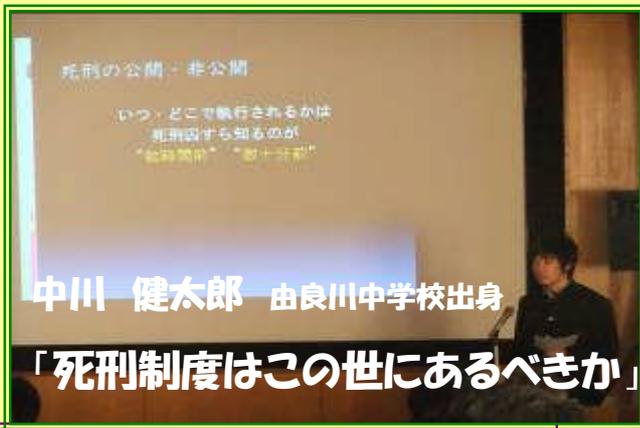
「みらい学Ⅰ」 研究交流会 開催

12月10日(金)、今年度最後の「みらい学Ⅰ」研究交流会を開催しました。9月に開催された京都大学総合博物館館長の大野照文教授の特別講義(「古生物学」)と10月に開催された京都地方検察庁の奥谷千織検事の特別講義(「法学」)でそれぞれ提示された研究テーマのなかから生徒各自がテーマを選択し、研究活動を行いました。その研究成果をポスターセッション形式かパワーポイント形式のどちらかでまとめ、グループ別に研究交流会を行い、それぞれのグループから代表を選出し、今回の研究交流会で発表しました。



本番!





中川 健太郎 由良川中学校出身

「死刑制度はこの世にあるべきか」



四方 かおり 豊里中学校出身

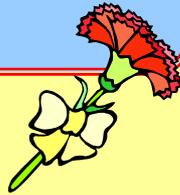
「生命の歴史 人類の幕開け」



廣居 和樹 六人部中学校出身

「生命の歴史」

この一年、「みらい学I」で学んださまざまな研究手法をいかして、生徒は来年度の「みらい学II」のよりレベルの高いグループ研究活動に取り組めます。



川尻 隆治 白糸中学校出身

「絶滅動物の復活」



伊東 豊 南陵中学校出身

「仮説と検証 夢の実現も無理じゃない!？」



多田 悠亮 豊里中学校出身

「日本における死刑制度」



柴田 幸穂 豊里中学校出身

「裁判員制度」



坂口 知輝 六人部中学校出身

「外国と日本における司法の比較」

研究交流会 感想 1年6組 黒田あゆみ 成和中学校出身
死刑制度は、自分と同じテーマの人が、全く違った視点から、全く違った方法でパワーポイントにまとめていて、とてもおもしろかったです。古生物学においては、四方さんの発表が興味深く、「アクア説」を、指の間に水かきの名残があるなど、私たちの体に実際にある特徴と関連づけたところで、「確かに!」と、少し感動してしまいました。

研究交流会 感想 1年6組 東 森生 川口中学校出身
自分なりの仮説を立てることは、例え間違っていたとしても、大事なことであると思う。研究の楽しいところは、人を驚かせることだと思う。だから、発表者も楽しまないと良い研究はできない。みんなの発表を聞いて、自分なりの仮説が立てられているなどと思った。特に興味を持ったのは死刑制度についてだ。死刑は倫理的問題が一番難しいと思う。悪人は一生悪人のままなのか、善人になれるのか、考えさせられた。今回の発表で視野が広がった。